



鳩山由紀夫



津島雄二



小泉純一郎



岩国哲人



今日、幾人かの衆議院議員が、引退する。このときに、いいたいことがある。

政治家が、官僚を管理しようとするなら、まず、国会議員の秘書をきちんと管理する必要がある。この点で、鳩山由紀夫氏は、失格であり、「先ずは隗より始めよ」である。

よい例としては、津島雄二氏である。小野公設第一秘書を筆頭に、ヒラエルスキーを形成している。他の秘書が、報告せず勝手なことをやると、小野公設第一秘書は、ちゃんと叱責や皮肉をいえるひとである。小野公設第一秘書は、イギリス情報機関に所属していて、津島雄二氏を立てて、影響力を行使しようとした。といっても、政策ではなく、津島雄二氏と首相に好きな人物を面会させるといった具合である。彼らは他の情報機関に対し、イギリス情報機関であることを隠すこともせず、時にはそれを恫喝的に用いた。

小泉純一郎氏は、イギリス情報機関の影響下に置かれていた。小泉純一郎氏は、イギリス情報機関にまつりあげられたが、具体的な政策には、あまり興味がなかった。政策に興味のない政治家は、悪い政策も、よい政策も行う。だから、今日、小泉純一郎氏の行ったよい政策と悪い政策を、よく精査しないとイケない。

アメリカのリチャード・ニクソン元大統領は、医療政策には、興味がなかった。だから、今日のアメリカ医療保険の問題が存在する。しかし一方、アメリカのリチャード・ニクソン大統領は、ガンの研究に投資するなどよい政策も行っている。

ところで、岩国哲人氏は、アメリカ情報機関に所属する。ただし、CIA ではない。彼の影響力は、たいしたものではない。日本の国会議員をエージェントにしても、影響力はほとんどない。むしろ、津島雄二氏のような有力議員の公設第一秘書をエージェントにしたほうがよい。

最後に、ひごろの官僚の行いをきちんと首相に報告させ、首相の意思を行政に反映させる制度を作る必要があることを言うておく。そのために、政治家による官僚組織の管理職の人事権の確立と、官僚組織全体の人事評価方法の確立の2点が重要だと考える。